

平成25年度天皇誕生日祝賀レセプションにおける大使挨拶

ご参列の皆様、こんばんは。

本日、まずは皆様とともに、本年12月23日をもって満80歳になれる天皇陛下のお誕生日をお祝いしたいと思います。

大使としてブラジルに赴任し、早いもので3年が経ちました。この間、ブラジルは世界有数の規模のGDPを誇るなど一層の経済成長を遂げた他、国際社会においてもグローバルパワーの一つとして益々その政治的・外交的影響力を増しています。

こうした中で、今年一年を振り返りますと、日伯関係におきましても、益々その協力関係を深化させております。

経済分野について申しますと、造船分野における協力の強化が顕著に進んでおります。今年、日本の造船業界の川崎重工、IHI、三菱重工の主要3社がブラジルにそろい踏みし伯に進出しました。我が国の造船業主要3社が一カ国でそろって事業を行うことは、我が国造船業界にとってみても、類を見ない試みとなります。今後、伯企業と提携して、プレサル油田開発等に不可欠な船舶の建造に関わることとなりますが、ブラジルのエネルギー分野のみでなく、経済社会全般に大きな変革をもたらすこととなるプレサル油田開発に我が国が貢献できることを大使としてうれしく思います。

ご存じの方も多いと思いますが、我が国は、かつて、イシブラスを通じてブラジルの造船技術者の養成に協力した経験があります。我が国はブラジルにおける「人材育成」の成功体験がありますし、また、ブラジルにもそれを受け入れる素地があることは、両国の造船分野の協力関係の強化にとって大きな追い風になるものと確信しています。

そして、今年は多くの人の往来があった年でもありました。

9月に岸田外務大臣が訪問し、フィゲレイド外相との会談の中で両国の協力関係を一層促進させることが再確認された他、5月には茂木経産大臣が訪伯し、ピメンテル開発商工大臣との間で貿易投資の促進や産業協力を強化していくことで一致しました。さらに7月には新藤総務大臣が当地でベルナルド通信大臣と会談し、デジタルTVの日伯方式で築いた協力関係をより一層発展させることを確認致しました。

更に、科学技術分野においても、海洋、宇宙、防災を始めとする分野で

日伯間のパートナーシップが強化されています。5月には日伯から多くの科学者が参加した有人潜航調査船「しんかい6500」による海洋調査が実施された他、防災分野では災害対策機能強化に関するJICA技術協力プロジェクトが開始しました。

私は、今後のブラジルの更なる発展と日本との関係の促進はブラジルの「人材育成」にかかっていると確信しております。日本は、ブラジルにて前述の海洋造船分野や防災分野において人材育成の協力を促進されておりますし、また、ルセーフ大統領による画期的な、「国境無き科学」計画についても、我が国は、現在約100名のブラジル人学生を受け入れております。先般は日本の主要大学関係者約30名から成るミッションが訪伯し、留学生、研究者による日本留学の促進に努めております。

また、今年は6月に当地でサッカーコンフェデレーションズカップが開催され、記念すべき開幕戦はご承知のとおり日本対ブラジル戦でございました。私はルセーフ大統領のすぐ後ろで、VIP席で唯一日本を応援しつつ観戦しておりましたが、伯の支援もあり最近顕著に力をつけてきている我が国代表が、2億人のブラジル国民を前に、わっと言わせるような力強いプレーを見せてくれることを期待していたが、開始後わずか3分も経たない間に、ネイマール選手に先制点を入れられ、その後の結果は皆様ご存じのとおりでございます。開幕戦の結果は残念でしたが、その後日本代表は、ペロオリゾンチとレシフェにおいて善戦し、あたかも我が国で行われたかと思われるほどブラジルの観衆々より大きな声援を頂きました。伯国民の親日感情を改めて実感した次第でございました。

私は明日からサルバドールに出張し、来年のサッカーワールドカップ抽選会に参加して参ります。来年ワールドカップで一層二国間の民間交流が促進されることが期待されるとともに、2016年リオ・オリンピック、そしてそれに引き続いて開催される2020年東京オリンピックに向けて、両国の絆が一層深まることを期待しております。

最後に、今年はサンタカタリーナ州を始めとする関係者による格別の努力の結果、サンタカタリーナ産生鮮豚肉の輸入が開始された記念すべき年でもございました。現在、日本市場における輸入生鮮鶏肉の94%がブラジル産であります。豚肉についても、今後、世界最大の豚肉輸入国である日本の市場で、ブラジル最大の豚肉生産地であるサンタカタリーナ州産豚肉のシェアが高まることを期待しております。

本日は、この期待を込めて、このレセプションの場で、サンタカタリーナ産豚肉を用いた日本食のデモンストレーションを行います。まさに本日、大変喜ばしいことに、ユネスコ無形文化遺産として登録された日本食について、皆様の味覚を使って理解を深めて頂けたら幸いです。この場をお借りして、今回のデモンストレーションのために豚肉を提供頂いたブラジル豚肉生産輸出業者組合（ABIPECS）に心より御礼申し上げます。

その他、本日は、ブラジルで活躍する日本企業の一例として、日産より電気自動車のリーフを、ソニーより4Kテレビを展示して頂いておりますので、是非ご覧下さい。この場を借りて、これらの団体のご協力に感謝申し上げます。

最後に、天皇皇后両陛下の御健康を祈念するとともに、日伯の友好協力関係の一層の進展と御出席の皆様の益々のご活躍を祈念申し上げ、私の挨拶とさせていただきます。

どうも有り難うございました。